

（仮称）三軒屋公園等複合施設整備運営事業

令和12年3月開館予定



※事業者提案時のイメージであり、今後の設計等により変更となる場合があります。

（仮称）三軒屋公園等複合施設の概要が決定しました

令和7年1月に策定した「（仮称）新座市三軒屋公園等複合施設基本計画」に基づき、「コミュニティ施設と公園が連携した、新たな地域交流拠点」を基本コンセプトとした（仮称）三軒屋公園等複合施設の概要が決定しました。

令和7年1月	基本計画（見直し）策定	（令和8年度～令和12年度 設計・解体・建設工事）
7月	募集要項等の公表	令和11年3月 指定管理基本協定の締結（予定）
11月	提案書の締め切り	11月 複合施設工事完成（予定）
12月	優先交渉権者の決定	12月 支援センター運營業務委託契約の締結（予定）
令和8年2月	基本協定の締結	令和12年3月 複合施設開館（予定）
3月	基本契約の締結（予定）	3月 東北コミセン解体開始（予定）
3月	基本設計契約の締結（予定）	9月 東北コミセン跡地部分（地上公園として整備）
6月	設計施工一括契約の締結（予定）	工事完成（予定）

事業者：ユニ・アジアグループ

代表企業：ユニ・アジアキャピタルジャパン株式会社
構成企業：【設計・監理】株式会社相和技術研究所 本店
【建設】積水ハウス株式会社 東日本特建支店
【維持管理・運営】日本環境マネジメント株式会社
パートナーズ・ワン株式会社
社会福祉法人豊の会

多世代が集い、交流し、活動が生まれる『新しいまちのシンボル』

1 階屋上公園

図書室、カフェ、学習スペースに隣接し、読書や散策も楽しみながら、ゆったりと過ごせる庭園空間



地上公園

四季の移ろいを感じられる緑の空間で、イベント利用と防災機能を両立するオープンスペース



※事業者提案時のイメージであり、今後の設計等により変更となる場合があります。

2 階屋上公園

遊具で子どもたちが遊べるスペースと、日差しを避けられるパーゴラやベンチを備えた見守りスペースで構成する、開放的な遊び空間

図書室・カフェ

テラス席、立体公園、学習スペースなどと連携し、相互利用が可能な図書室
カフェスペースを設け、飲食を楽しみながらくつろげる、居心地のよい滞在空間



地域子育て支援センター・プレイルーム

幼児や児童及びその保護者が利用しやすく、居心地のよい居場所となるような滞在空間

東北出張所・防災倉庫

マルチコピー機による証明書発行やオンライン相談窓口の導入などの行政サービス機能、指定緊急避難場所相当の備蓄機能を配備

学習スペース

個人で読書や学習ができるスペースに加え、簡単なミーティングや歓談等が行えるオープンスペース

ギャラリー

展示以外にも活用できるよう、可動間仕切りにより多目的に利用できる機能を備えたギャラリー空間

多目的ホール・多目的室

可動間仕切りにより分割利用も可能で、ダンスや軽運動、ミーティングなど、多用途に利用できる空間

スタジオ

防音性を確保し、本格的な楽器演奏やコーラス、吹奏楽の練習等が可能なスタジオ空間

旧ほっとぐらぞ閉館に伴い、東北出張所及び図書館サービススポットを東北コミュニティセンターに設置し暫定運用してきましたが、同センター及び隣接する三軒屋自転車駐車場の老朽化等を踏まえ、施設の複合化・集約化・再配置を進めることで、（仮称）三軒屋公園等複合施設を整備します。本事業では、立体都市公園制度を活用し、効率的・効果的な土地利用を実現します。

整備後は、複合施設としての一体的な運営により利便性を高め、民間活力の導入を通じて市民サービスの充実を図ります。子どもから高齢者までが日常的に集い、交流し、活動が生まれる『新しいまちのシンボル』を創出し、地域の活性化とにぎわいを創出する拠点を目指します。



■施設の概要

所在地：新座市東北2-28-5
複合施設：鉄筋コンクリート造
地上2階・地下1階建 約2,300㎡
都市公園：約2,330㎡（地上+屋上）

■事業費

設計・解体・建設	28億8,200万円
維持管理・運営(15年間)	21億1,689.5万円
合計	49億9,889.5万円

新座市総合政策部

（仮称）三軒屋公園等複合施設整備推進室

TEL 048-485-8671